

STC-1

スチームトラップからの蒸気漏れを早期に、そして簡易に発見することができ省エネルギー効果を発揮します

■ 特 長

- 1.操作性シンプル: 連続診断可能
- 2.高速診断: 自動診断最短2秒
- 3.バイブレーション機能: 暗所や閉所での確認可能(特許登録済み)
- 4.LED機能: LED表示でも診断結果が分かります。
- 5.用途切替可能: 表面温度センサー・聴診機能も切替可能です。



■ 仕 様

スチームトラップ自動診断時間	2秒または8秒
スチームトラップ診断適用圧力	0.05~8.0MPa
表面温度センサ適用温度	0~300°C
自動電源OFF	5分後 (スチームトラップ自動診断モード時、操作しない場合)
周囲温度	0~40°C(凍結不可)
使用場所	屋内・屋外(ただし、雨水など水が掛からないこと)
電池	DC1.5V 単4アルカリ乾電池 2本 連続使用時間: 約8時間(*1)
付属品	収納ケース、保護キャップ、イヤホン、単4アルカリ電池2本

*1 アルカリ乾電池使用時(25°C、スチームトラップ診断モード時)

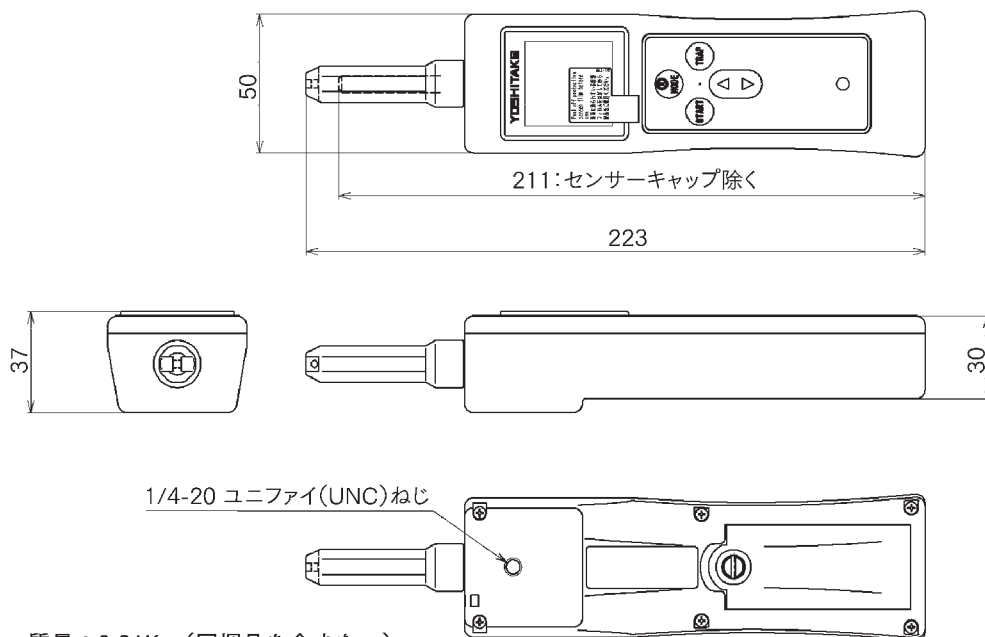
■ モード(機能)

モード(機能)	概要
スチームトラップ自動診断モード	スチームトラップ作動状態を自動診断(*2)
表面温度センサモード	蒸気配管の表面温度を表示する
聴診モード	スチームトラップの作動状態を聴診する

*2: スチームトラップ自動診断結果表示

診断結果	スチームトラップの作動状態	LED表示
GOOD	正常と判断	緑
CAUTION	正常か漏れかの判断がつきにくく、今後の注意が必要と判断	黄
LEAK	蒸気が漏れている可能性が高いと判断	赤
LOW TEMP	表面温度が低く、詰り、休止または容量不足の可能性が高いと判断	黄

■ 寸法及び質量



高速診断

自動診断
最短 **2秒**
聴け: 2秒
漏れ: 2秒または8秒、
正常: 8秒



診断中画面イメージ

用途切替可能

スチームトラップ以外の蒸気バルブの漏れ、つまりの確認もでき、表面温度センサー機能及び聴診機能は任意に切替可能。



カンタン切替操作で聴音・表面温度のみの測定も可能です。

操作性シンプル

自動診断の場合、複雑な操作が必要でしたが2アクションで設定が可能になり同一条件であれば連続診断も可能になりました。

バイブレーション機能

バイブレーターによる振動で診断開始・完了が分かり診断ミスが削減でき暗所や閉所での確認も可能になりました。
(特許登録済み)

LED機能

LED表示でも診断結果が分かります。これにより更なるトラップ診断のスピードアップが可能になります。

自動電源OFF機能

タイマー機能

タイマー機能を装備しておりますので高所や狭所などで診断開始時に時間差が必要な場合などに使用できます。10秒後に診断が開始されます。

※センサ先端の接触が確認可能な範囲での使用になります。

大画面LCD

大画面LCDを採用し、目視確認等視認性良好です。また診断中のスチームトラップの作動状況を波形レベルの時間変化として表示することができ、液晶画面上からも作動が確認できます。



■ 使用例

1. ヘッダー下のスチームトラップ診断



2. 手動バルブの漏れチェック

